

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内（八丈町・青ヶ島村）



【定点把握疾患】2025年 第39週（9月22日～9月28日）

八丈島 COVID-19 4件

青ヶ島 なし



【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第38週（9月15日～9月21日）

・インフルエンザの定点当たり報告数は1.00で、前週よりも増加しています。

ひとくち感染症情報 『マイコプラズマ肺炎』

1 マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、細胞に寄生する極めて小さな細菌であるマイコプラズマ・ニューモニエによる感染症です。幼児、学童期、青年期を中心に全年齢で1年を通して報告があります。

2 原因と感染経路

病原体は、マイコプラズマ・ニューモニエ (*Mycoplasma pneumoniae*) です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって感染（飛まつ感染）、あるいは病原体が付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）があります。

3 症状

潜伏期間は2～3週間と比較的長いです。発熱、全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾性の咳がみられます。咳は経過に従って徐々に増強し、解熱後も3～4週間程度続きます。重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの中枢神経系症状、中耳炎などの合併症がみられることもあります。

4 治療

治療には、マクロライド系の抗生剤を中心に使用します。

5 予防のポイント

手洗い、咳エチケットを心がけましょう。

6 診断・感染症法との関係

マイコプラズマ肺炎は、血液を採取して抗体測定、咽頭ぬぐい液を採取して病原体の分離・遺伝子検出で診断します。

感染症法上、五類感染症（定点把握対象）に定められており、基幹定点医療機関から毎週患者数が報告されています。



島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

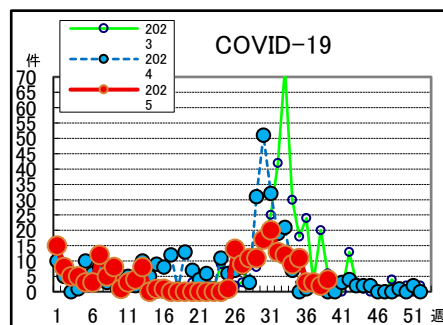
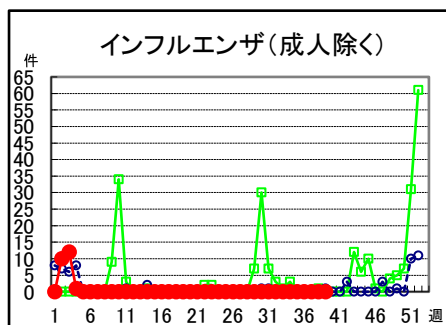
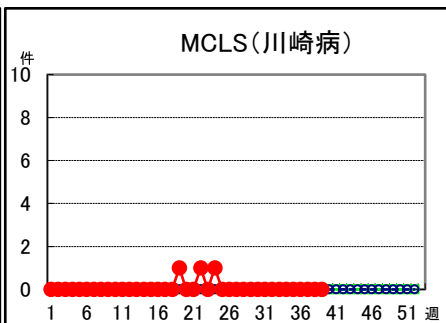
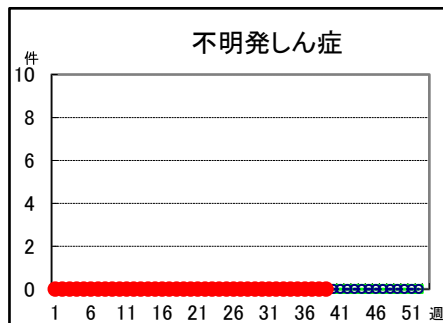
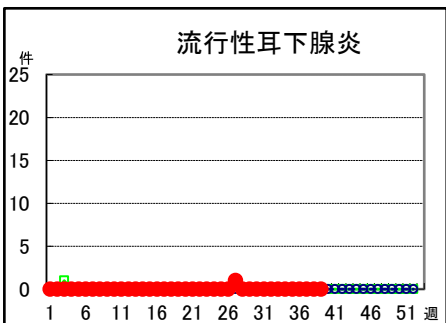
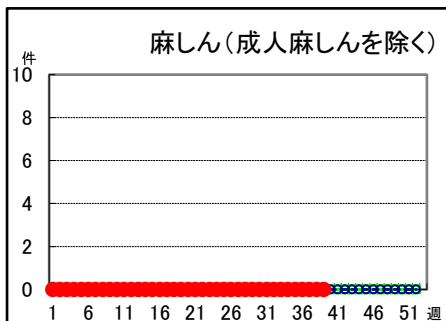
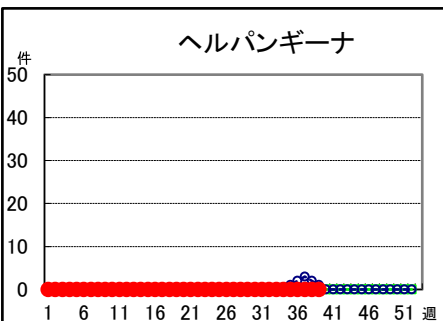
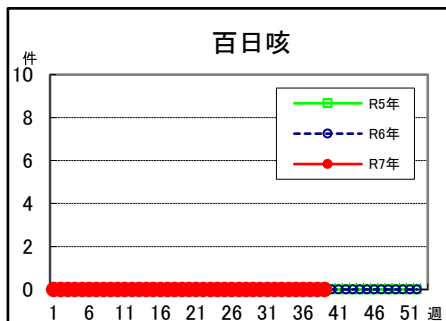
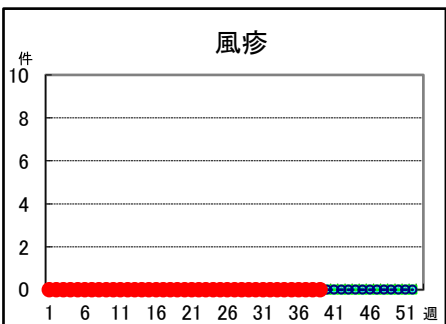
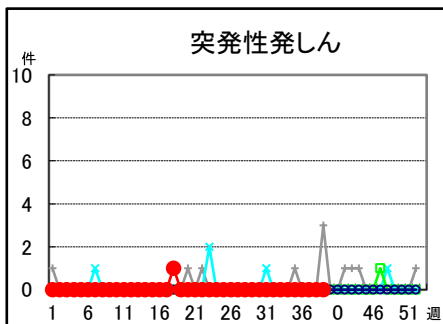
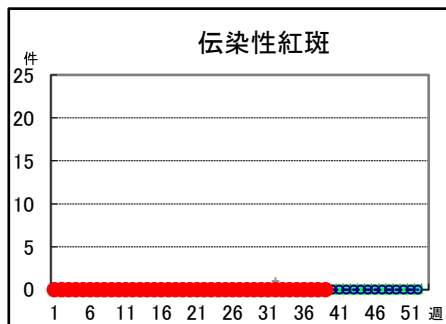
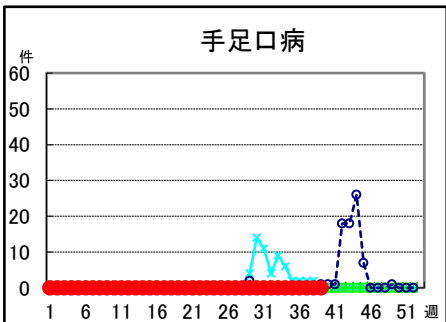
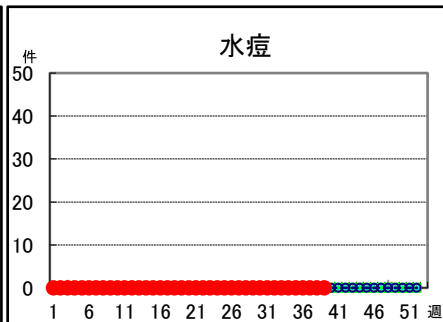
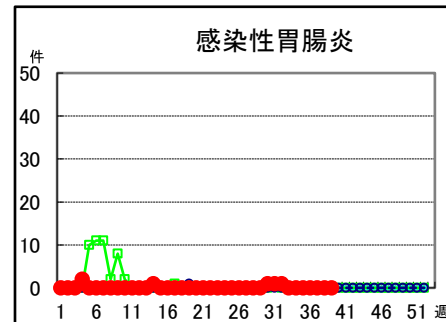
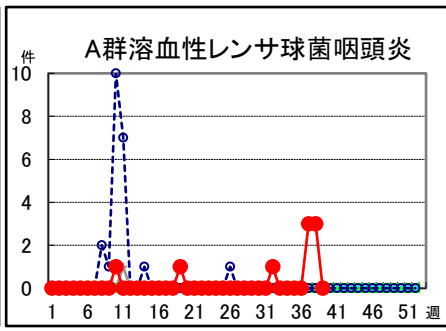
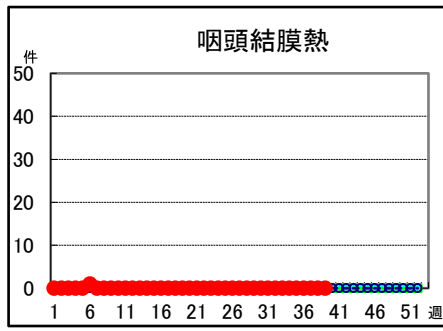
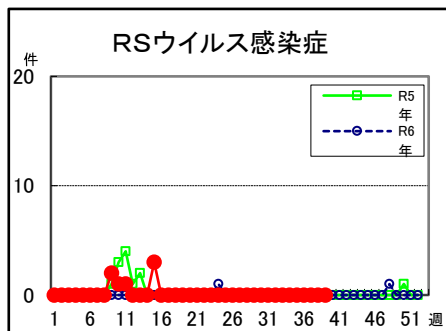
※八丈出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト）<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話:04996-2-1291
FAX:04996-2-0632